

U. R 様 28歳 女性 入院期間 2016年3月7日～6月7日

生後2ヶ月からアトピー性皮膚炎発症。3ヶ月から全身の皮膚炎になりステロイド外用使用。

10年間使用したが、その後は脱ステし民間療法のみを行った。しかし、顔はカサカサで全身のほぼ3割以上の面積で常に皮膚炎が生じていた。

20歳でステロイド外用を数日使用したが、リバウンドで滲出液が生じ悪化。以後、余計にステロイドを避けるようになった。

その後も医療機関は受診せず、上半身を中心に軽症から中等症のアトピー性皮膚炎が増悪・消退を繰り返しながら持続。

皮膚炎悪化により長期の就労継続は困難で短期就労を繰り返していた。1年前から現在の職場で就労していたが、次第に皮膚炎が全身性に増悪し勤務困難となり入院。

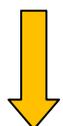
3ヶ月間の治療を実施。入院時の TARC2418 LDH312 という数値は1ヶ月で TARC454 LDH121 と、ほぼ正常レベルに低下した。

その後も順調に改善し、自覚症状のスコアである POEM も 25→4 に低下した。

アトピー性皮膚炎のコントロール手段を得る事により、病気に振り回されずに自己の人生プランを作ることができる事は、人生より豊かにしてくれるのではないかと思います。

	基準値	2016/3/7	2016/4/7	2016/5/7	2016/6/2
TARC	450 以下	2418	454 ↓	356	314
LDH	120～245	312	121 ↓	117	118
IgE	170 以下	3993	3857	3147 ↓	2983
好酸球	7%以下	30%	13% ↓	8.5% ↓	9%
POEM(自覚症)	最重症者 20～28	25	10 ↓	3 ↓	4

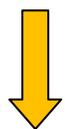
2016年3月7日



2016年6月2日



2016年3月7日



2016年6月2日

